

超音波踵骨測定装置 A-1000 EXP II 仕様

● 測定方式	超音波パルス透過法 スマートドライ方式 双方向超音波計測 固定探触子
● 探触子	直径25mm (1インチ) 探触子2個 0.5MHz 中心周波数 送受信方式
● 内蔵ヒーター	温度自動制御機能ヒーター
● 内蔵プリンタ	58mm用紙幅感熱式プリンタ
● 操作・表示パネル	上下反転機能付カラーLCDパネル 6.5インチ、640×480
● カップリング剤	70%以上のアルコール (エタノール・イソプロピル)
● メンブレン	熱可塑性エラストマ製メンブレン
● 測定水	アクアドライ (蒸留水)
● 測定水温度	約33℃に自動制御
● 測定時間	約10秒
● 測定精度	約2%CV
● 測定項目	BUA値、SOS値、スティフネス値、若年比較% (YAM値%)、同年比較%、Tスコア、Zスコア
● QA(自己診断)テスト	最低7日間に1回

● 本体寸法	305 (W) × 281 (H) × 610 (D)
● 本体重量	13Kg
● 電源	100V - 240V、50/60Hz
● 消費電力量	65VA スタンバイ時 650VA 測定時
● 使用環境	温度 15~35℃ 湿度 30~90% (結露しないこと) 静電気の発生しない環境 ほこり、塵、煙などが発生しない環境
● 装置保管・輸送環境	温度 -20~70℃* 湿度 30~95% (結露しないこと)

* 温度が0℃以下になる場合は、装置内の測定水量を半分以下にして保管してください (凍結膨張障害を避けるため)。

● オプション



GE Healthcare

超音波踵骨測定装置

A-1000 EXP II

Strong Bones. It's vital.



healthymagination



Improve
Quality



Increase
Access



Reduce
Costs

GEヘルスケア・ジャパン
カスタマー・コールセンター 0120-202-021
www.gehealthcare.co.jp



販売名称 超音波踵骨測定装置 A-1000 EXP II
医療機器認証番号 223ABBZX00015000号
製造販売業者 GEヘルスケア・ジャパン株式会社

※ 記載内容は、お断りなく変更することがありますのでご了承ください。
Rev.1.0 1AK・C-C1 (KM) Printed in Japan Bulletin L1A9



より速く、 より簡単に、 より多くの方に、 それが A-1000 EXP II の使命

国際骨粗鬆症財団によると、世界中の女性の3人に1人、男性の5人に1人において骨密度の減少が認められ、骨粗鬆症による骨折リスクが高まっていると報告されています。

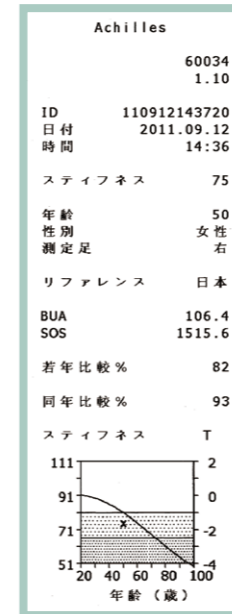
骨密度が減少すると、骨そのものがもろくなり、骨折リスクが高くなります。この骨密度の減少は、まったく自覚症状なしに進行していき、骨折して初めて「骨粗鬆症」が認められる方も数多くいます。

短時間に、簡単に、正確に測定できるポータブルな超音波踵骨測定装置 A-1000 EXP II は、骨粗鬆症のスクリーニングや、健康診断などの一次対応としての骨粗鬆症のマネジメントに威力を発揮します。一人でも多くの方のリスクを軽減する。それが A-1000 EXP II の使命です。私たち GEヘルスケアは、骨粗鬆症の啓発活動をサポートします。

利便性と正確性の両立、 それが A-1000 EXP II の目指した先

測定結果のプリント

測定結果は内蔵プリンタから自動で印刷可能です。



簡単操作を実現した
グラフィック
ユーザーインターフェース



持ち運び可能な
スマートなデザイン

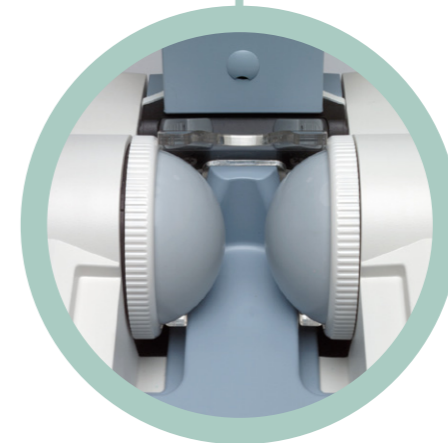
耐久性の優れた
新しいメンブレン

測定データの取り出しが可能な
USBポート搭載



標準10秒測定

「被験者の多くは高齢者。足を固定しての測定はより短時間が望ましい」そんな声に応え、測定時の負担を極力抑えながらも測定精度の維持に努めた末に標準10秒という高速測定が実現しました。



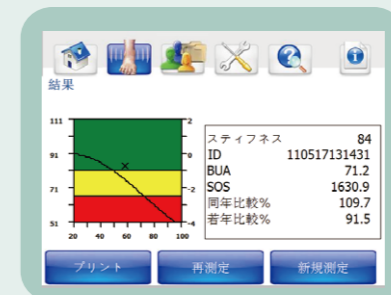
アルコール スプレー対応

GEならではの高性能トランスデューサの採用により、踵へはアルコールスプレーによる測定が可能。ゲルに比べ測定後の拭き取りが不要なので、被験者にもオペレータにもそして装置にも、優しく清潔な方法です。



スティフネス値

骨の評価には国際的に認められたスティフネス値を採用。SOS（超音波透過速度）とBUA（超音波減衰係数）から導き出されるもので、踵骨を総合的に評価します。



スティフネス値

スマートドライ方式

測定の正確性を重視し、実績と定評のあるスマートドライ方式を採用。タンク内で約33℃に加熱された水を、高性能メンブレンを膨らませ踵に密着させることで、よりスムーズに超音波の透過を実現します。